

解答

一

問一	① ア	② ウ	③ ウ
問二	I オ	II イ	III ア
問三	エ		
問四	ウ		
問五	1 不可欠	2 雨こい	
問六	イ		
問七	ウ		
問八	ア		
問九	感謝		
問十	エ		

二

問一	a ウ	b イ
問二	イ	
問三	ウ	
問四	1 はかなげ	2 安易な同情
問五	ア	
問六	エ	
問七	イ	
問八	ア	
問九	エ	

解説

一

問三 デイック・ファイルが「お天気が挨拶になるのはイギリスのお天気が変わりやすいからだ」と解釈していることを踏まえて考えると、「天気の変化が少ないので、取り立てて天気を話題にする必然性がない」という記述を含む選択肢エが選べます。

問七 ——線(4)を含む段落に着目します。ことわざというのは、昔からの経験や教訓を言葉にしたものであり、信用できなければ語り継がれることなく消え去ってしまうものなので、いまも残ることわざは検討してみる価値があるという内容から、選択肢ウがもっとも適切です。

二

問五 ——線(3)の後に「ちゃんつけて呼んだ。嫌な予感はず確信に変わり、あたしは、覚悟を決めた。」とあります。またその後の文章から、美咲が安易な同情に屈辱を感じ、理穂の前で怒りをあらわにしていることがわかるので選択肢アが選べます。

問八 ——線(5)の少し前にある、「あたしも美咲を侮辱した。」や「最低だ。わかっている。」の部分から、美咲に対して理穂が負い目を感じていることがわかります。その後、タオルをつかんで美咲をベッドに押し倒し、涙の跡が隠せるように力をこめて拭いたことから、たとえ親の前であっても美咲のプライドを守ろうとする理穂の思いが読み取れるので、選択肢アが適切です。